

千年の森便り No.189

2019.4.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月21日(日) 日曜日 晴

澄み切った青空に新緑が映えるなかで、年次総会が開かれました。

この種の総会は形式的だったり、お座なりに成りがちですが、当日は各議案に対して、熱心で建設的な意見が多く寄せられました。フランクな雰囲気の中で自由に発言し、アイデアが次々飛び出すのは自主的な活動を支える原動力だと思います。

今年度は事務局長のご尽力により、セブンイレブン記念財団と環境財団から多額の助成金が得られますから、予算規模が大きくなって、事業計画が満載です。

特に冊子「豊英島の自然」増補版の発行が目玉になると思います。

このような重要な年にも拘わらず、頼り無い私が続き代表を務めさせて頂きますので、皆様のご支援を宜しくお願い致します。(坂本)



参加会員は新井夫妻、新井通子、伊藤、鶴沢、及川、苅米、久我夫妻、栗山、坂本、中田家族(夫妻と智貴、裕史、朱音、千晴)成沢、福島、松田、真鍋、山口の22名に中田家に連れられて小2けいた君も加わり総勢23名の大盛況でした。

〇年次総会

2019年度総会は穏やかな春の豊英島で、出席20名、委任状7名で開催されました。

「2018年度活動報告」と「決算」、「2019年度活動計画」と「予算」について、活発な質疑応答を経て実態に即した内容に修正のうえ承認されました。

また長年の懸案だった豊英島の自然の続編の刊行が、外部助成金を得て実施の運びとなり、関連する議論に熱が入りました。任期1年のため毎年行われる役員人事については、坂本代表以下全員留任となりました。

日頃じっくりと時間をかけた議論をする機会が少ないなか、それぞれの思いを忌憚なく話合う貴重な機会となりました。(伊藤)

2019年度活動計画及び月別計画は5~6頁に掲載しています。保存して活用ください。



房総半島の自然を堪能できた充実の一日

今日は、家族6人&山口けいた君(小学2年生)と豊英島の活動に参加してきました。春たけなわの豊英島やその周辺の山々は、コナラの芽吹きで銀緑色に輝き、その中にヤマザクラ、ミツバツツジの花が色を添えてまた美しく、見ていて心癒される景色でした。島内を散策する間も、サクラの花びらがずっと舞い落ちていました。



芽吹きで輝く豊英島



ミツバツツジ



オニシバリ

午前中私は年1回の総会に参加。夫や子供達は島内を散策し、アオダイショウ、カナヘビ、ナナフシの小さな赤ちゃんやトゲアリ(の仲間)、アマガエルを見つけ、喜んでいました。トゲアリ(の仲間)は、動いているミミズに襲い掛かってくいちぎってしまうというどう猛な性格も見られてびっくりしたようです。またアマガエルの色が変わる様子を観察できたようです。一緒に参加した小学2年生のケイタ君は、大きなカナヘビが一番気に入ったようでした。



アオダイショウ



アマガエル見つけ



ニホンアマガエル



ナナフシの赤ちゃん



トゲアリの仲間

私も総会が終わった後は植物の新井通子さんに豊英島の植物の話をお伺いでき勉強になりました。



ミヤマウグイスカグラ



チゴユリ



キランソウ



ニガイチゴ



最高に美味しいMシェフご自慢のペペロンチーノ



ゆでたてのコゴミは美味しい

ランチは豊英島の手前にある広場でメンバーの方の手作りのペペロンチーノを作って下さり、最高に美味しかったです！メンバーの方が持ってこられた山野草も頂き、春の味わいも楽しめました。暑いぐらいの一日でしたが、森の中は気持ち良く、房総半島の自然を堪能できた充実した一日でした。(中田真也子)

新緑の季節を迎え、豊英島はいきいきと呼吸して

久しぶりの千年の森は新緑の森でした。清和のミツバツツジ祭りに寄り道をしたので着いたのがちょうどお昼の時間。今回もおいしいコーヒーをいただきました。

その後皆さんが会議中に島の探検です。新緑の季節を迎え、豊英島はいきいきと呼吸をしているようでした。島内を歩くと色々な植物に出会えます。今回はエビネに出会えました。鹿に食べられて絶滅かと聞いていたので、嬉しくなりました。自然は奥深いですね。（新井克枝）



林床のエビネ(中田)

○植物調査

「植物目録編集のため、未確認種の整理を年度内に完了する。」との今年度の活動計画に従い、早速未確認種の調査を開始し、解散までの時間を利用して林内のサクラを調査しました。その結果現在の植物目録に「未確認種」として記載されている「オオシマザクラ」と「カスミザクラ」は今年も発見できません。新しい植物目録では、この両種は目録から除外し、欄外に「未確認種」として整理します。豊英島には他に多くの未確認種がありますので、植物班のメンバーを中心に、5月以降も各月の開花期の種を中心に調査し、10数種ある未確認種の整理を年度内2月までに完了するよう努めます。植物班メンバー、会員の皆様のご協力をお願いします。（真鍋）



フデリンドウ(栗山)



ミヤマウグイスカグラ(栗山)



コショウノキ(栗山)



ツクバネウツギ(栗山)

○ヘビの記録

暖かくなってきてヘビも活動を始めました。この日はアオダイショウとヤマカガシを確認しました。（福島）

○農地での作業

リクエストのあった里芋を植え付けました。機械の力を借りず、人力頼りですから十分に耕す事も出来ず、ただ種芋を埋め込んだだけです。初年度ですから余り収穫を期待せず、シカの食害があるか否かのテスト栽培と思って下さい。



山側の日陰になる所にはミョウガも植えました。シカの好みでないのを祈ります。

これまでに植えたもので無事なのはコゴミ（クサソテツ）ウド、ブルーベリーです。ウリイ（オオバギボウシ）とタラは食害を受けていますが

芽が再生しているので保護策を講じる必要があります。（坂本）



アンニゴとキンカンの差し入れ

山口さんから珍しいアンニゴと何時もこの時期に楽しみな苳米さんのキンカンが大量に差し入れされました。アンニゴとはウワミズザクラの若い蕾を塩漬けにしたもので、杏仁の風味がある珍味と聞いていましたが、実物を味わうのは初めてでした。



ウワミズザクラ蕾(畔田)



ウワミズザクラの花(佐倉市)

これまで自然観察会では「これは食べられるそうですよ」とあやふやな解説していましたが、これからは自信を持って説明できます。キンカンは冬に市販品を食べるものとは比べ物にならない程に甘さがありました。今が本来の完熟期なのか品種によるものなのか分かりませんが、美味しくいただきました。お二人にご馳走様でしたと御礼申し上げます。(坂本)

お知らせ

○次回活動日 5月12日(日) 清和県民の森～豊英島ハイキング 初夏の県民の森の自然を満喫しながら豊房島までハイキングします。満開のジャケツイバラが迎えてくれます。

清和県民の森木のふるさと館駐車場 9時30分集合

資料代 200円(会員外)、千葉駅からのバス利用者 1000円(定員に限りがあります)

詳しくは、添付の「2019清和県民の森新緑ハイク」PDFをご覧ください。

なお5月12日活動日に、一部の会員がハイキングに参加せず、植生保護柵の補強などの作業や調査を行うため、豊英島に朝から入林します。朝から豊英島入林の会員は、9時30分鎌田屋旅館前集合です。

○編集会議のお知らせ

豊房島の自然Ⅱ(仮称)の刊行に伴い、編集委員会を立ち上げ、会員の力を結集してよりよい作品にしたいと思います。

5月6日(祝)午後1時、四街道市わろうべの里

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/kurashi/shisetsu/fukushi/waroube.html>

ロビーで開催します。

前回の編集者が中心の集まりですが、興味のある方はぜひご参加ください。

事務局 伊藤

2019 年度活動計画

会設立以来の活動成果を踏まえ、今後の課題を明確にして、規約第3条の目的達成のため以下の通り活動計画を決定し、実行する。

森林整備	1. 生物多様性保全を基本に、植生保全、ギャップ林更新、危険木処理等の位置づけを明確にして除間伐及びブッシュ状低木の除去を行う。 2. ホテイ岬、ギャップ林の植生状況を確認しながら、整備を行う。	
ヒメコマツ	1. 房総のヒメコマツ保全に寄与するため、植栽されたヒメコマツの専門家調査に協力するとともに、必要な手入れを行う。	
巨木林調査	成長量調査を継続実施する。 (1) 成長量調査	
ニホンジカなど動物生態調査と食害対策	1. センサーカメラによる動物生態調査を継続実施する。 2. ニホンジカ頭数調査を継続実施する。(計4回) 3. 植生保護柵の増設及び改修を行う。(野ウサギ)	6・9・ 12・3月
植物調査	1. 植物調査を継続実施する。植物目録作成のため、未確認種の整理を年度内に完了する。必要に応じて講師又は協力者を依頼する。 2. 希少種保護のため、位置情報の集約を行うとともに、個別に適切な調査保護を行う。	
野生キノコ	1. キノコ観察会を実施する。(夏・秋) 2. 継続的にキノコ調査を行うとともに、リスト・標本作製・写真撮影収集に努める。	8月、10月
野鳥観察	1. 野鳥調査を継続実施する。 2. 営巣等が認められた場合は継続観察をする。	毎月
昆虫調査	1. 昆虫調査を継続実施する。	適宜
照度調査	1. 島内各所、ヒメコマツ植栽域の調査を継続する。	年2回
研修	1. 自然観察会(県民の森・島内)を実施する。 2. 必要に応じて適宜ミニ研修を実施する。	5月 随時
キノコ栽培	1. 放射能問題の展望が開けるまで休止する。	
広報関係	1. HPを適宜更新し、情報発信に努める。 2. 会報誌『千年の森だより(電子版)』を有効活用する。 3. 「豊英島の自然」をPDF化し、必要に応じて提供する。 4. 「続・豊英島の自然(仮称)」の発行を行う。	
環境整備	1. 水源地保護のため水辺の清掃を実施する。 2. 物置を点検整備し、不要保管物を整理する。 3. 広場・ベンチ・観察路案内板を整備する。	
島外活動	1. 島外の農地において、フキ、ワラビ、ウド、タラの芽等の収穫を楽しむよう、環境整備に努める。	随時

<事務局>

- ・名簿管理、事業計画、渉外その他(伊藤)、
- ・会報発行(真鍋 成沢)、
- ・ホームページ・OneDrive管理(福島)、 メールングリストの管理(福島、成沢)
- ・フェイスブック(福島)

<班編成>

- ・調査班：福島・伊藤・及川・水柿（照度調査、シカ個体数調査、食害調査、巨木林調査）
- ・植物班：真鍋・栗山・新井通子・赤松・秋元
（希少種保護、植物調査、種名標示札、写真、観察会）
- ・動物-野鳥班：坂本・及川（動物・野鳥観察調査、記録、センサーカメラの管理）
- ・昆虫班：田島・河野（昆虫調査、写真）
- ・キノコ班：村野・松田・降旗・中田（野生キノコの調査、目録・標本作製、写真、観察会）
- ・環境整備班：苅米・根本・山口・鶴沢・大原
（広場・看板・物置・観察路・案内板等整備、水辺清掃）
- ・安全委員長：久我

2019年度月別活動計画

月 日	主な活動	摘 要
4月21日(日)	年次総会、自由散策、危険木処理 植物・野鳥・昆虫調査	
5月12日(日)	県民の森自然観察会(内部講師) 植物・野鳥・昆虫調査、ギャップ林植生調査	公開行事 (バスツアー)
6月9日(日)	シカ個体数調査1 環境整備(水辺)、危険木処理、 植物・野鳥・昆虫調査 ヒメコマツ周辺下刈、ボート調査	里山センター総会 6月16日(日)
7月21日(日)	光環境調査(夏) 農地草刈り 植物・野鳥・昆虫調査	
8月18日(日)	キノコ観察会(吹春講師) 農地草刈り 植物・野鳥・昆虫調査	公開行事 (バスツアー)
9月16日(祝)	シカ個体数調査2、環境整備(観察路、ベンチ) 植物・野鳥・昆虫調査 ギャップ林植生調査	
10月20日(日)	キノコ観察会(吹春講師) 植物・野鳥・昆虫調査	公開行事
11月17日(日)	ホテイ岬地区整備 植物・野鳥調査	
12月8日(日)	シカ個体数調査3 巨木林成長量調査、 植物・野鳥調査	紅葉時期
1月19日(日)	希少種環境整備 植物・野鳥調査	
2月16日(日)	光環境調査(冬) 植物・野鳥調査 物置整備	
3月15日(日)	シカ個体数調査4、ヒメコマツ樹高・径計測 植物・野鳥調査	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

5月12日(第2日曜): セブンイレブン助成金でバス提供予定(個人負担1000円・40名予定)